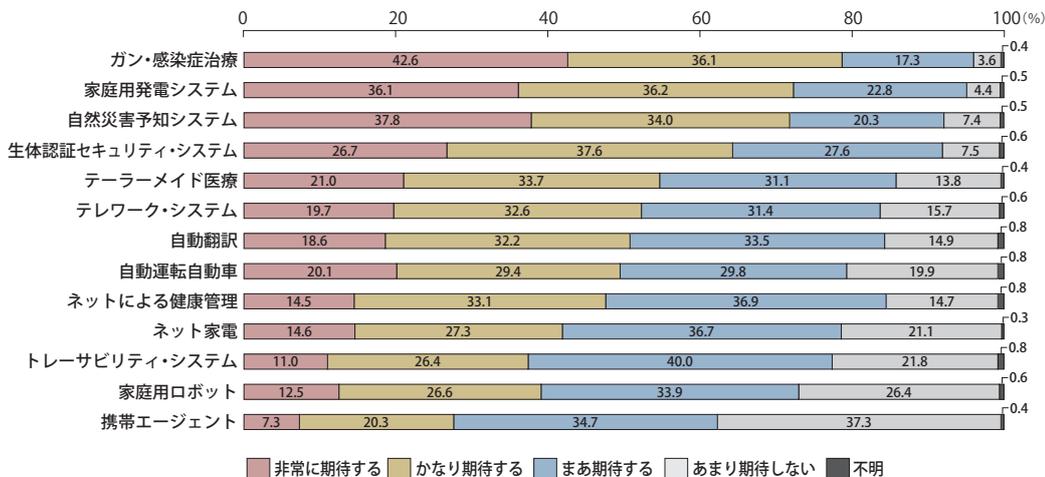


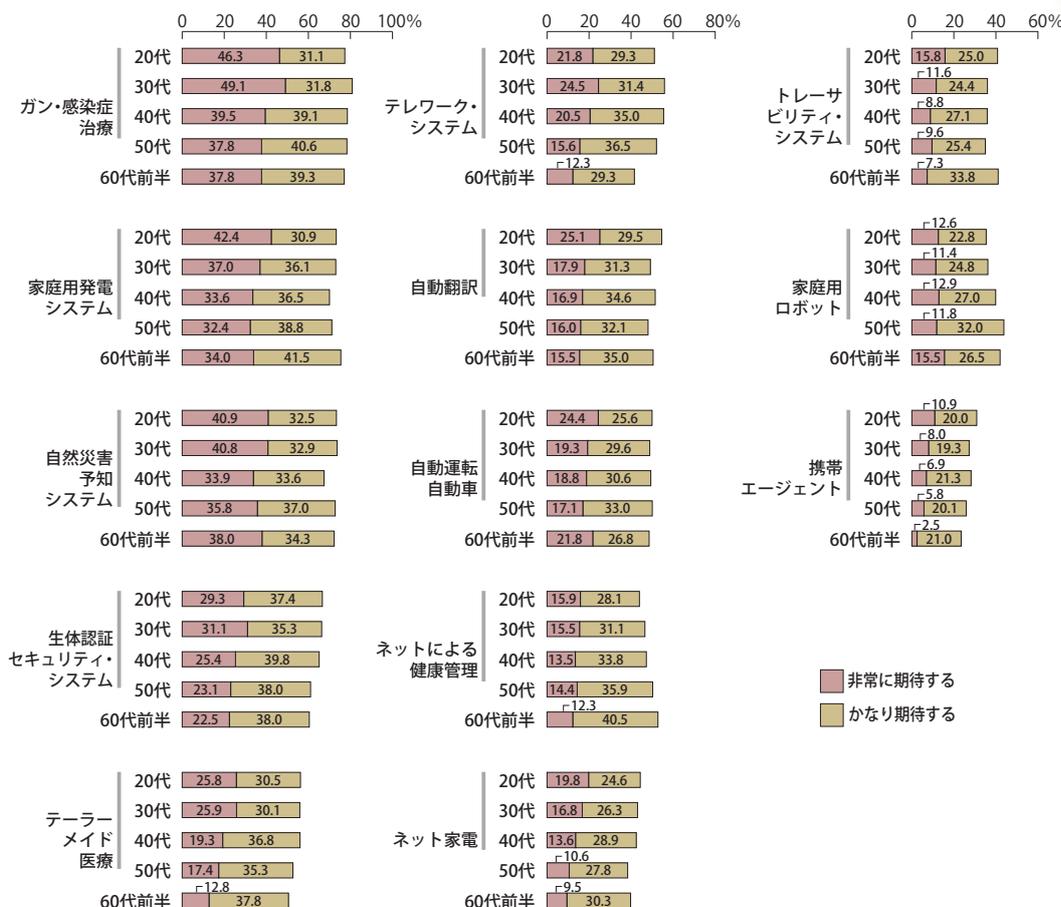


「安心・安全」に関わる技術の実現への期待大

あなたは10年後、どのような技術が実用化、もしくは普及していただきたいと思いますか。



「ガン・感染症治療」「家庭用発電システム」「自然災害予知システム」に「非常に期待する」「かなり期待する」と答える回答者が7割を超えた。「生体認証セキュリティ・システム」「テーラーメイド医療」に対する期待も高い。一方、「携帯エージェント」「トレーサビリティ・システム」「家庭用ロボット」などは相対的に期待度が低い。疾病や犯罪から身を守り、「安心・安全」を確保するための技術の実現・普及を優先的にとらえていることがうかがえる。



10年後の技術への期待について年齢別に見ると、「非常に期待する」の割合は、「自動運転自動車」「家庭用ロボット」以外は、全般的に若年層の方が高い傾向が見られる。「かなり期待する」と合わせた割合で見ると、「家庭用発電システム」「トレーサビリティ・システム」は60代前半、「家庭用ロボット」は40代から60代前半で高い。また、「ネットによる健康管理」は、年齢が高いほど期待度が高くなっている。

10年後の

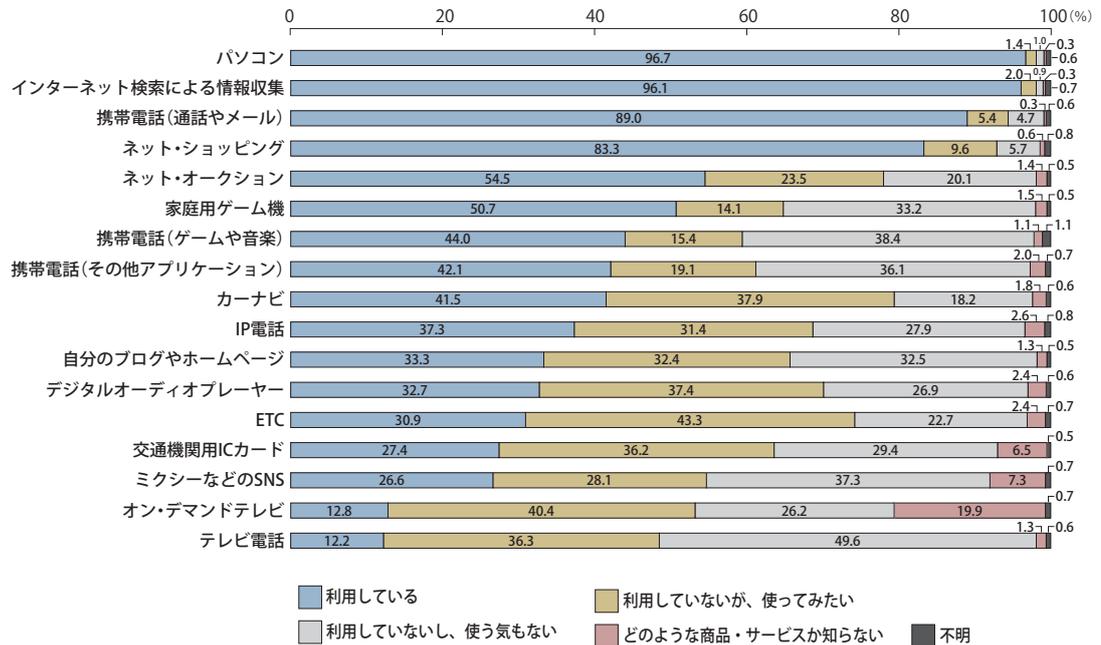
科学技術

をイメージする

技術への期待

IT機器・サービスの利用状況と今後の利用意向

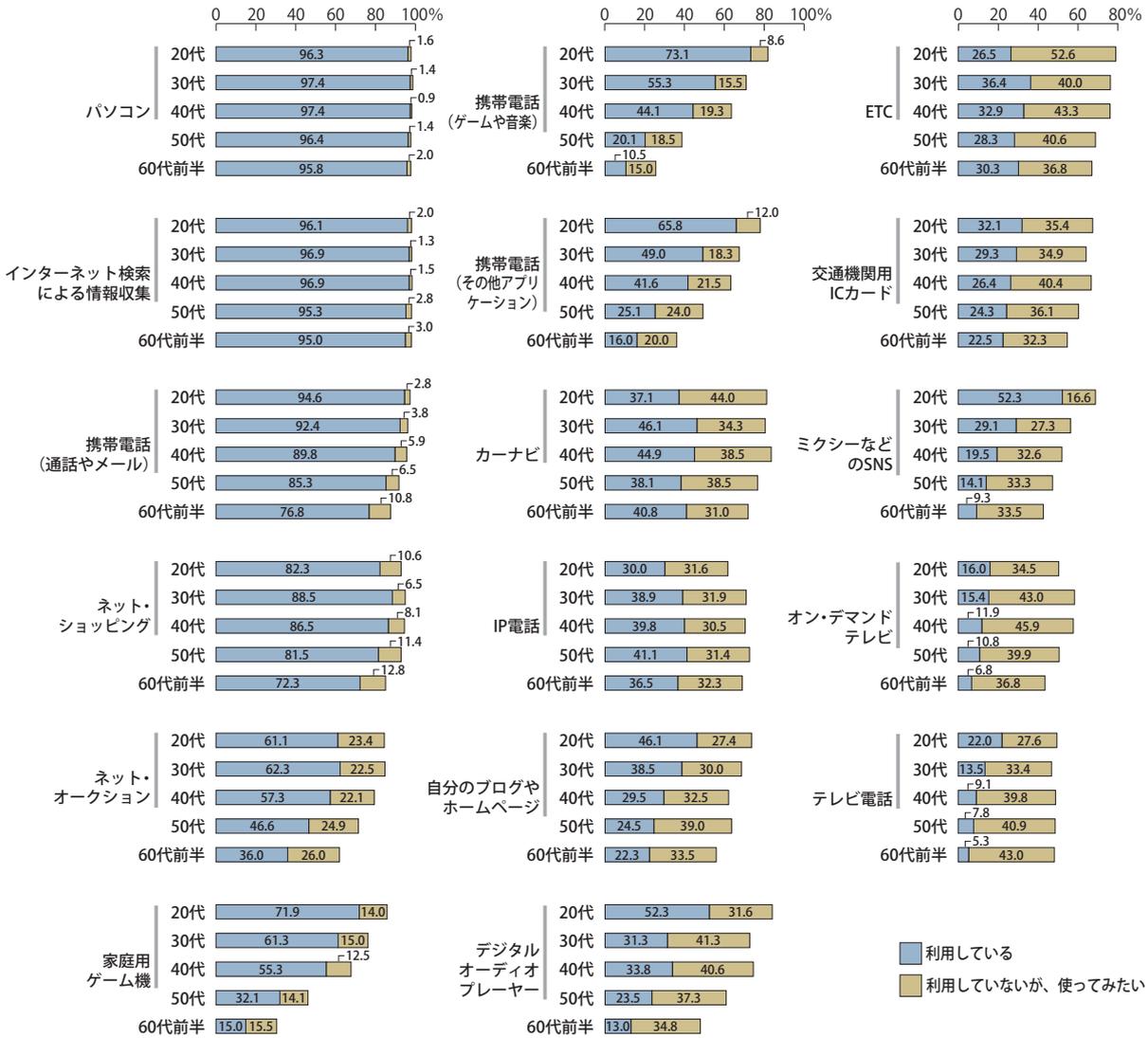
あなたは、以下にあげる商品・サービスを利用していますか。



グラフは、17種のIT機器・サービスの利用状況と今後の利用意向について尋ねた結果を示したものである。ここからは以下のようなタイプを見出すことができる。

- ① 「パソコン」「インターネットによる情報収集」「携帯電話(通話やメール)」「ネット・ショッピング」のように普及率が高く、回答者の大半がすでに利用しているもの。
- ② 「家庭用ゲーム機」「携帯電話(ゲームや音楽)」「携帯電話(その他アプリケーション)」のように、利用が比較的容易で利用意向のある人はすでに利用しており、「利用している」「利用していないし、使う気もない」が二分しているもの。
- ③ 「カーナビ」「IP電話」「自分のブログやホームページ」「デジタルオーディオプレーヤー」「ETC」のように、利用者の知識や比較的高額の出費を要するなど利用のハードルが高く、利用意向は高いが普及率が低くとどまっているもの。
- ④ 「オン・デマンドテレビ」「テレビ電話」のように、もともと関心を抱く回答者が一部に限られ、「利用している」「利用していないが、使ってみたい」の合計が5割前後にとどまっているもの。ただし、「利用していないが、使ってみたい」とする割合はいずれも4割前後と他の商品・サービスと比較して決して低くはない。

③、④のタイプについては今後①のタイプのように普及が進むのか、②のタイプのように利用者・非利用者の分化が進むのか、興味深い。③のタイプでは、「様子見」の状態から利用へのハードルを越えられるかが、④のタイプでは、「利用していないし、使う気もない」「どのような商品・サービスか知らない」層が関心をもつようになるかが鍵と言えそうだ。

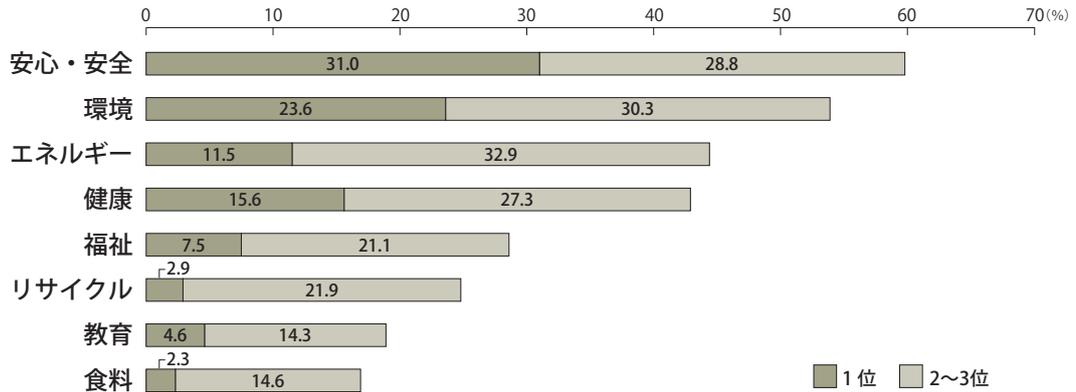


グラフは、17種のIT機器・サービスの利用状況と今後の利用意向について尋ねた結果を年齢別に示したものである。利用率で見ると、「パソコン」「インターネットによる情報収集」「カーナビ」「IP電話」「ETC」以外は、一般的に若年層の方が利用率が高い傾向が見られる。中でも、若年層と高齢層で利用率に大きな差があるのは、「ネット・オークション」「家庭用ゲーム機」「携帯電話(ゲームや音楽)」「携帯電話(その他アプリケーション)」「自分のブログやホームページ」「デジタルオーディオプレーヤー」「ミクシーなどのSNS」であった。

「カーナビ」「ETC」は30～40代、「IP電話」は30代以上で利用者が多い。

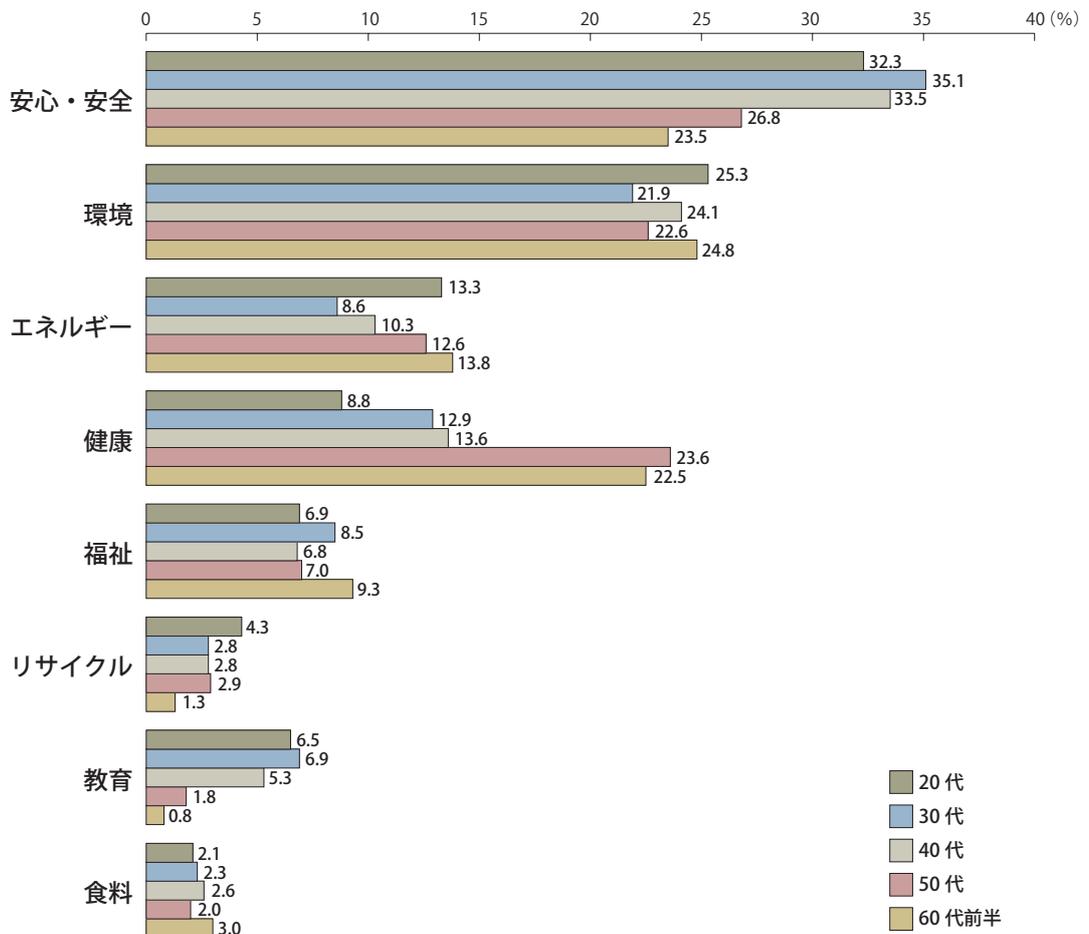
ITにも「安心・安全」問題への貢献を期待

10年後の社会において、あなたはIT（情報技術）に何を期待しますか。



IT（情報技術）への期待は「『安心・安全』問題の解決への貢献（防犯や防災など）」で最も強く、これに「『環境』問題の解決への貢献（地球温暖化防止や資源活用など）」「『エネルギー』問題の解決への貢献（エネルギー効率の向上や代替エネルギーの活用など）」「『健康』問題の解決への貢献（健康管理や疾病予防など）」と続く。これに対し、「『食糧』問題の解決への貢献（トレーサビリティや生産性の向上など）」「『教育』問題の解決への貢献（遠隔教育や個別対応学習など）」を挙げる回答者の割合は低い。

さまざまな技術の実用化や普及について尋ねた前述の項目と同様、疾病や犯罪、環境問題など、「危機」から身を守ることへの期待が大きいと言える。



ITに最も期待すること（1位）について年齢別に見ると、「『安心・安全』問題の解決への貢献」「『教育』問題の解決への貢献」への期待は20～40代で強く、「『健康』問題の解決への貢献」への期待は年齢が高いほど強くなっている。